

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 田園調布学園中等部高等部
 種別 中学校 高等学校
 住所 〒158-8512
東京都世田谷区東玉川 2-21-8
 E-mail : tyamada@chofu.ed.jp
 Website : <http://www.chofu.ed.jp>
 生徒数：女子（中等部）642名 女子（高等部）584名
 合計 1226名
 生徒の年齢 12歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

色をつけた部分が本校でおもに実践しているものです。

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

4. 活動内容

（1）1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

授業での取り組み

<保健体育>

中等部2年生

2013年11月から2月にかけて、「健康と環境」に関する学習を行った。11月と12月は講義を中心におこない、1月・2月はその知識をもとに調べ学習に取り組んだ。各班が調べたいテーマを決め、パワーポイントで発表した。今年よく見られたテーマは、大気汚染問題、地球温暖化であった。授業にあたっては教科が図書館の司書教諭と連携し、授業計画の作成や参考文献の準備、発表方法への助言などをおこなった。発表の形式は今年からパワーポイントを用いて行うようにした。今までは模造紙を用いて発表することが多かったが、より効果的な伝え方はどのようなものかを考えさせられた点で、成果が見られた。

宿泊行事での取り組み

<中等部1年 体験学習旅行>

7月29日 学校～白根山～横手山～宿舎（夜に事前学習の発表会）

7月30日 池めぐり（大沼池）～信州大学自然教育園

中村和彦氏（東京大学空間情報科学研究センター）による講演
～天体観測・ホテル鑑賞

7月31日 飯盒炊爨

8月1日 帰校

2013年7月29日から8月1日にかけて、長野県下高井郡山ノ内町の志賀高原を訪れた。事前学習として、5月からHRの時間に志賀高原や長野県について、班ごとに動物・植物・気象・地質などさまざまな角度から自然環境についての調べ学習に取り組み、理解を深めた。また、地理の授業では、志賀高原の地形を扱うことで、その成立過程について理解を深めている。実施期間中、初日は天候が思わしくなく、火口湖を見学した後は宿舎へ向った。この日の夜には、事前学習の発表会をおこない、生徒全体で研究の成果を共有した。2日目は順調に池めぐりを終え、夜は中村氏の講演を聴いた。生徒たちは志賀高原での体験により、豊かな自然に触れることができ、池めぐりの山道を歩ききったことで、達成感・満足感を得られたようであった。慣れない環境での新しい仲間との生活は、深い人間関係を築いてゆく良い機会となった。

<高等部1年学習体験旅行>（2013年3月27日～4月1日）

九州へ5泊6日で訪れる。この行事は年度をまたぐため、報告としては2013年3月27日から4月1日のものを述べる。

3月27日 東京～福岡～名護屋城址・博物館～長崎

3月28日 長崎～平和公園・原爆資料館～長崎市内班別自主研修～講演会・分科会

3月29日 諫早湾干拓環境学習～南島原市（原城史跡めぐり）～天草（大江天主堂）

3月30日 天草～水俣（環境プログラム）

3月31日 鹿児島（日置市東市来 講演 第15代 沈壽官氏）

4月1日 鹿児島～仙巖園・尚古集成館～鹿児島市内班別自主研修～東京

学習体験旅行の目的

1. 長崎を訪れ、平和とは何かを考える。
2. 水俣を訪れ、公害とは何か、そして将来の理想の環境の姿を考える。
3. 朝鮮半島、諸外国との歴史的関係を学び、今後の国際関係がどうあるべきかを考える。
4. 諫早湾を訪れ、干拓事業を通して、これからの人間と環境の共生のあり方について考える。

HRと授業で一年間の事前学習を終えて、現地での見学に臨んだ。生徒たちは福岡、長崎、水俣、諫早、天草、鹿児島各地を訪ねるなかで、発信地で発信者からのメッセージを受け取り、自分たちがこれから何を伝えていくべきなのか、それぞれが思いを新たにしようとする姿が見られた。この旅行を通して、生徒たちに、次代の発信者としての役割を担おうという姿勢が生まれたようであった。（以下、事前学習については、文集『発信地で発

信者に学ぶ』より転載する。)

事前学習の記録

高等部1年次の取り組み

HR 活動	授業
2012年 4・6 オリエンテーション@体育館 ・九州学習体験旅行について(一年間の流れ) 5・9 HR@体育館(委員の紹介) 5・16 HR@体育館(事前学習について) 6・6 HR@教室(ビデオ「水俣証言録」) 6・13 HR@教室(ビデオ「水俣病と生きる」) 6・27 HR@教室(ビデオ「長崎の子」) 7・1 1HR@プラザ(夏休みの課題説明)	5月:化学(長崎) 「原爆・放射能」 6~7月:国語(水俣) 『苦海浄土』(石牟礼 道子)
<夏季休業中> 課題: 新聞記事5つ or 本2冊	
9・19 HR@体育館(下見報告) ☆なでしこ祭(高2展示をしっかりとみよう) 11・7 HR@教室(ビデオ「日本の原爆開発」) 11・14 HR@教室(ビデオ「長崎の鐘~永井博士~」) 11・21 HR@教室(長崎自主研修の説明+コース企画) 11・28 HR前半:@体育館(軍艦島の説明) 後半:@教室(長崎自主研修コース企画) 12・5 HR@講堂(文化講演会「軍艦島」坂本道徳氏) 12・19 HR@教室(ビデオ「諫早で生きたい」)	9~10月:国語(長崎) 『祭りの場』(林 京子) 12月:世界史(長崎)＝「原爆」
2013年 1・9 HR@教室(ビデオ「島原の乱」) 1・16 HR@教室(鹿児島自主研修の説明+コース企画) 1・30 HR@教室(鹿児島自主研修の説明+コース企画) 2・6 HR@教室(ビデオ「韓国から見た日本」) 2・13 HR@教室(ビデオ「誇り高き朝鮮陶工」) 2・27 HR@体育館(しおりの読み合わせ) 3・12 第5回定期考査後@体育館(旅行の最終確認)	1月:国語(鹿児島) 『故郷忘じがたく候』(司馬 遼太郎) 1~3月:生物(水俣・諫早) 「生物多様性と環境」 2月:世界史(水俣) 「高度経済成長と水俣病」 2月:世界史(鹿児島) 「秀吉の朝鮮侵略と日朝関係史」
3・27~4・1 九州学習体験旅行(5泊6日)	
6月:一日校外学習@丸木美術館 9月:なでしこ祭(展示・発表)@プラザ 12月~3月:「発信地で発信者に学ぶ旅」完成	

生徒会活動での取り組み

<環境委員会>

①エコキャップ回収運動

全校に呼びかけをおこない、リサイクルルームで回収したペットボトルキャップをまとめ、NPO法人「エコキャップ推進協会ECOCAP」へ送っている。今年までの実績で、

221320 個を回収している。

②校内清掃用具点検 年2回実施

前期と後期に1回ずつ実施して、過不足の調整をおこなった。また、傷みのあるものは交換し、清掃環境を整えている。

③校内のゴミ分別確認

清掃時に排出されたゴミの分別確認を環境委員がおこなっている。数年来続けられてきたこの取り組みにより、分別で大きな問題は生じていない。

④なでしこ祭（文化祭）でのゴミ回収・分別

飲食店・休憩所にゴミ箱を設置し、分別回収にあたっている。本校では、持ち込みゴミの持ち帰りを呼びかけており、活動は軌道に乗ってきた。

⑤外部イベントへの参加

高校生環境サミット

生徒会執行部が都立つばさ総合高等学校で開催された環境サミットを見学した。

⑥地下倉庫の清掃

地下倉庫はクラブの荷物保管場所となっており、年間を通して大きな行事が終わったあとに、一斉掃除を呼びかけている。今回は事務室と協力し、環境委員が該当クラブへ呼びかけ、教員も積極的に参加し、相当のものを片付けることができた。この取り組みも年間の活動予定の中に定着させていきたい。

教員の取り組み

本校は教職員でEMS委員会（田園調布学園中等部高等部環境マネジメントシステム）をつくり、環境への意識の向上に努めている。

①職場環境の改善・・・校務センターの整理整頓、美化推進

前期および後期にそれぞれ、推進委員の教員が整理整頓・美化推進を呼びかけ、改善にあたった。

②OA用紙の使用量削減と電気使用量の低減

使用量をデータでまとめ、使い方についての注意、呼びかけをおこなった。年度末には内部監査をおこない、改善箇所を決めて取り組んでいる。

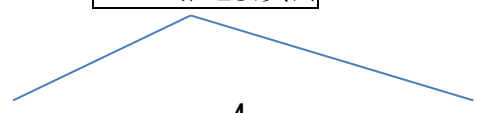
③環境教育の充実と推進

ユネスコスクール全国大会に出席し、校内連携を深める分科会に参加した。分科会の内容は生徒会の教員会議で伝え、情報の共有を図った。

なお、今年度は、教員がより環境への意識を高めていけるよう環境マネジメントシステムを改組した。次の図で色をつけた部分に変更箇所である。

環境マネジメントシステム 改組

EMS推進委員会



国・社・数・理・芸・体・家・英	各教科から1名	事務・司書・養護
校務センター・教務室・進路指導室		事務室・図書室・保健室
教職員・生徒		

校務センター・教科教材（教科準備室）・教務室・進路指導室 の荷物整理：

6月中旬 荷物整理・整頓 → チェック → 事後の確認

校務センター 整理・整頓の呼びかけ：9月初旬・10月中旬・12月中旬・3月

窓側のロッカーの上は「一時的保管場所」であり、長期に置かないことの確認。

日常の取り組みとして

①朝掃除

本校教育理念の「捨我精進」の精神の実践、および周辺地域に対して、生徒たち自身も日々の生活を気持ちよく過ごすために環境美化に努め、環境教育の一環とする活動である。

期間：1年間（中等部2年生が各クラスで期間を分担）

毎朝7：50～8：10頃まで

- ・外掃除…校舎の周り、正門・通用口など出入り口、昇降口
- ・内掃除…校舎1階の出入り口、プラザ、生徒ラウンジ
- ・外掃除…竹ぼうきなどを使い、敷地内、公開空地、歩道そして近隣住宅の道路ゴミや落ち葉を集めた。
- ・内掃除…扉や窓の雑巾がけ、生徒ラウンジのテーブルの布巾がけ、プラザのモップがけ、カーペットに付着したわたぼこり等を掃除機できれいにし、廊下をほうきで清掃した。

外掃除では昇降口や玄関、校舎の周りをきれいにする責任感をもって取り組んでいた。内掃除では登校する生徒や教員と挨拶をかわし積極的に取り組んでいた。一部のクラブもこの取り組みに参加するようになり、朝の自主練習の前に清掃に取り組む姿が見受けられた。

②落ち葉はき

「捨我精進」の精神の実践として、周辺地域と共に心地よく生活が送れることを考え、学校生活の充実と環境美化の推進を目的として毎年おこなっている。

11月下旬～12月中旬 通常清掃時に実施

1回の活動生徒数を10名程度とし、担任の指示・指導により、校舎周辺区域で中等部1年生から3年生で実施した。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()